

小惑星探査機『はやぶさ2』の実物大模型を展示

無料

10/26(土)~11/7(木) 12:00~19:00
※10/28(月)・11/5(火)休館

場 アートエリアB1(中之島1-1-1 京阪電車
なにわ橋駅地下1階)

- 特別講演「はやぶさ2の過去、現在、未来」
- 10/26(土) 13:30~15:00 (13:00開場)
【講師】田中智氏 (JAXA宇宙科学研究所教授)
- 大阪市立科学館出張講演会
「宇宙の石を地球へ届ける」
- 10/27(日) 15:30~17:00 (15:00開場)
【講師】飯山青海氏 (大阪市立科学館学芸員)

- 北区魅力動画・絵画・写真の各コンテスト入賞作品を展示する「北区魅力発見コンテスト作品展」も同時開催
- アートエリアB1、大阪市立科学館、夢キタ万博2024の会場を回るキーワードラリーも開催します
※詳細は京阪電車各駅で配布中のチラシでご確認ください

問 アートエリアB1
☎ 06-6226-4006

4

質の高い教育を
みんなに



第5回子ども世界平和サミット「Most Peaceful賞」受賞

8月20日、衆議院第一議員会館(東京)で開かれた「第5回子ども世界平和サミット」で、北稜中学校2年生の岡あやめさんがスピーチを行い、「Most Peaceful賞」を受賞しました。

「人の助けになることをやりたい」と考えていた岡さんは、「平和」がテーマと知り応募しました。岡さんが考えた「平和を創る」アイデアは、絵やデザインなどの作品を制作してオンラインショップで売ったり、デジタルアートをコピー・改ざんできないよう「NFT化」して販売することです。「絵を描くことは誰でもできるので、自分の行動がお金になる体験が平等にできる。世界中の人にお金を稼ぐ喜びを与えたい」と、自らも絵を描いて分かりやすく伝えた岡さん。実現に向け、いろいろなことに挑戦したいと語りました。

写真提供: Peace Piece Project

子ども世界平和サミットのホームページ▲



岡あやめさん



自転車放置禁止区域が拡大されます

うめきた周辺区域では、うめきた2期区域先行まちびらきに伴い、10月1日(火)から「自転車放置禁止区域」が拡大されます。放置禁止区域内の道路や駅前広場等に自転車やミニバイク(50cc以下)が放置された場合は、短時間であっても即時撤去されます。自転車・ミニバイクは自転車駐車場(駐輪場)にとめましょう。

■ 新たに追加される放置禁止区域 ■ 今までの放置禁止区域

問 地域課 ☎06-6313-9734 ☎06-6362-3823
建設局自転車対策担当
☎06-6615-6683 ☎06-6615-6577

北区の駐輪場はこちら▶



大淀北公園
大淀小学校
大淀中学校
浦江公園
上福島北公園
うめきた
JR大阪
阪神大塚南
梅田
大淀警察署
阪急中津
阪急大塚南
梅田
JR大阪
阪神大塚南
梅田

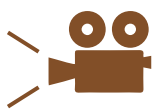




見つけてキタ!! 北区魅力動画コンテスト2024

【募集期間】10/1(火)~令和7年1/5(日)
【募集テーマ】「未来へつなげたい! 北区の魅力」
【部門】①一般動画部門 ②縦型ショート動画部門
※最優秀賞のほか、部門ごとに優秀賞、一般投票賞などを設けています
【応募方法】応募フォームからアップロード、または公式SNSに投稿
【表彰式】令和7年2/24(月振休) 扇町ミュージアムキューブ(南扇町6-26) ※予定

問 北区魅力動画コンテスト2024事務局(株式会社ジェイコムウエスト)
☎06-7897-2030(火・水曜除く10:00~17:00)
✉ info@mitsukete-kita.osaka 詳細はコンテスト特設ホームページ▶





SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちのSDGs⑬

地球規模の環境問題や社会課題の解決も、まずは一人ひとりの小さな実践の積み重ねから。持続可能な開発目標(SDGs)達成への貢献をめざす大阪・関西万博に向けて、みんなで取り組む「TEAM EXPO2025」プログラム／共創チャレンジから北区での活動をご紹介します。

株式会社ニュージエック

災害対策の経験を活かし 子どもたちの防災意識を高めたい

経営企画グループ 中村友香さん

道路や橋、ダムや堤防、上下水道など土木公共事業の調査・計画・設計・維持管理などに携わる総合建設コンサルタント会社です。事業の中で、地震や水害など災害が起きた際の被害を様々な条件でシミュレーションし、ハザードマップの作成など災害に関わるソフト対策・ハード対策の両方に取り組んできました。

気候変動に起因する災害が頻発する中、そうした経験や情報の蓄積を地域の防災に活かしたいと、社内プロジェクトチーム「N-EXPO」を結成し、2022年11月より活動を開始。現在は有志20名ほどで活動しており、府内外の小中学校で防災に関する出前講座を行っています。

「ジオラマ模型のまちに実際に水を流し入れて水害を再現し、そのメカニズムを説明します。ミニカーなどが流される様子に子どもたちは釘付けです」と経営企画グループの中村友香さん。「防災クイズでは、ハザードマップの見方や、避難する時にどんな履物を履いて逃げればいいのかなど、役立つ情報を分かりやすく伝えます。水害が起きた際どう行動すればいいか考えるきっかけになれば」

今後は、地元・北区の子どもたちにも災害の恐ろしさや備えの大切さを伝えていきたいと考えています。地震や台風、大雨による災害は、いつ起きてもおかしくありません。いざという時、どうすれば自分たちの命を守ることができるのか、一人でも多くの子どもに学んでほしいと願っています。

出前講座の様子

水害ハザードマップ(北区)はこちら▲

共創チャレンジ・N-EXPOニュージエックのページ▲



13 気候変動に具体的な対策を

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
《SDGsチャレンジ》
ハザードマップを確認しよう



新旧様々な“推しスポット”がある北区! 最新情報と共に伝えします

大阪市立住まいのミュージアム 大阪くらしの今昔館

大阪くらしの今昔館 ホームページ▶
場 天神橋6-4-20

江戸時代の大坂へ タイムトラベル

長いエスカレーターに乗り耳を澄ますと、町のにぎわいが聞こえてきます。10階は江戸時代の大坂の町並みが見渡せる展望フロア。やがて日が暮れ、火の見櫓(やぐら)の向こうに月が昇ります。

大阪くらしの今昔館は、住まいの歴史と文化をテーマにしたミュージアムです。9階には実物大で再現された江戸・天保年間の大坂の町が広がります。表通りには薬屋、人形屋などが軒を連ね、来館者は町家に上がり込み、調度品に触れながら散策を楽しめます。路地を抜けると庶民の住む裏長屋です。

8階では、文明開化から大大阪への発展、そして戦後の復興に至る各時代の暮らしを精巧な模型と資料で紹介します。

家族構成も築年数も「造り込み」

昨年度は約34万人が来館しました。館長の増井正哉さんは、その強みを「造り込み」と話します。「すべての町家に家族構成や築年数が設定され、建築様式や傷み具合、調度品に反映しています」。町家の表の大戸やばったり床几(しょうぎ)も開閉可能です。

裏長屋の1軒に、借主を求める「かしや」の張り札。中には畳もふすまもありません。借主が全て持ち込む「裸貸(はだかがし)」と呼ばれる仕組みは、京や江戸にない大坂独自の貸家システムでした。小さな空き家から、想像が広がります。

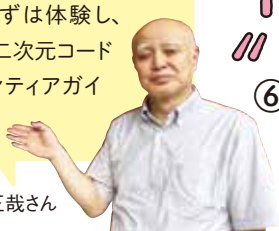
どんな興味を持って来られても楽しめるよう、細部まで造り込んであります。そして環境に溶け込んでいただけるよう、文字説明はありません。まずは体験し、もっと知りたくなったら二次元コードを読み込んだり、ボランティアガイドにお声掛けください。

「かしや」の張り札が斜めなのも大坂流

館長の増井正哉さん



大坂の町のにぎわいもそのままに





教えて! 北区の推しスポット ⑥